

クラブ戦略計画に関するアンケート集計結果

回答率96.0% (72/75クラブ)

熊本95.1% (39/41クラブ) 大分97.0% (33/34クラブ)

回答者内訳

戦略計画委員長 8クラブ 会長エレクト 47クラブ 会長 6クラブ
幹事 4クラブ 次年度幹事 1クラブ 会長ノミニー 2クラブ 未記入 4クラブ

1-1 所属するクラブはクラブリーダーシッププラン（CLP）を導入している

はい 66.7 (48クラブ) いいえ 33.3% (24クラブ) 未記入 0

1-2 「いいえ」と回答された方に質問です。今後、協議して導入する予定である

はい 41.7% (10クラブ) いいえ 41.7% (10クラブ) 未記入 16.6% (4クラブ)

2-1 所属するクラブは戦略計画委員会を組織化している

はい 44.4% (32クラブ) いいえ 54.2% (39クラブ) 未記入 1.4% (1クラブ)

2-2 「はい」と回答された方に質問です。メンバー構成を選んでください（複数回答可）

会長 25クラブ 幹事 22クラブ 会長エレクト 26クラブ 直前会長 21クラブ
理事 20クラブ その他 12クラブ

その他の内訳

直前ガバナー 1クラブ パスト会長 3クラブ 会長ノミニー 2クラブ 次年度幹事 1クラブ
中堅会員 1クラブ 新会員 1クラブ その他 4クラブ (内訳未記入)

2-3 「はい」と回答された方に質問です。委員会は定期的に行っている

はい 91.4% (32クラブ) いいえ 5.7% (2クラブ) 未記入 2.9% (1クラブ)

2-4 委員会は年間、何回程度行っていますか

12回 2クラブ 10回 1クラブ 6回 3クラブ 4回 6クラブ 3回 2クラブ
2回 10クラブ 1回 4クラブ 未記入 1クラブ

2-5 「いいえ」と回答された方に質問です。今後、協議して組織化する予定である

はい 60.5% (26クラブ) いいえ 30.2% (13クラブ) 未記入 9.3% (4クラブ)

3. クラブの細則を、ガバナー補佐やクラブ会員が閲覧可能な場所に常備している
 はい 77.8% (56クラブ) いいえ 20.8% (15クラブ) 未記入 1.4% (1クラブ)
4. クラブの定例理事会を毎月、必ず行っている
 はい 94.4% (68クラブ) いいえ 5.6% (4クラブ) 未記入 0
- 5-1 クラブは、長期の活動を行っている
 はい 91.7% (66クラブ) いいえ 8.3% (6クラブ) 未記入 0
- 5-2 「はい」と回答された方に質問です。どの分野の活動を行っていますか（複数回答可）
 基本的教育と識字率向上 3クラブ 経済と地域社会の発展 3クラブ
 水と衛生 8クラブ 疾病の予防と治療 1クラブ 平和と紛争予防/紛争解決 1クラブ
 母子の健康 2クラブ ポリオ撲滅 19クラブ 災害支援 10クラブ
 青少年支援 40クラブ 地域社会貢献 34クラブ 環境 12クラブ
 その他 4クラブ 未記入 5クラブ
- 5-3 「いいえ」と回答された方に質問です。今後、行ってみたい分野はどれですか（複数回答可）
 基本的教育と識字率向上 1クラブ 経済と地域社会の発展 0クラブ
 水と衛生 1クラブ 疾病の予防と治療 0クラブ 平和と紛争予防/紛争解決 0クラブ
 母子の健康 1クラブ ポリオ撲滅 1クラブ 災害支援 1クラブ
 青少年支援 2クラブ 地域社会貢献 2クラブ 環境 0クラブ
 その他 2クラブ 未記入 3クラブ
6. クラブは、年度を通じて会員とパートナー（家族）のための親睦会を企画している
 はい 95.8% (69クラブ) いいえ 4.2% (3クラブ) 未記入 0
7. クラブに、家族会が正式につくられている
 はい 15.2% (11クラブ) いいえ 80.6% (58クラブ) 未記入 4.2% (3クラブ)
8. クラブの活動に、会員とパートナー（家族）が協力して活動を行っている
 はい 65.3% (47クラブ) いいえ 30.5% (22クラブ) 未記入 4.2% (3クラブ)
9. 欠席の続いている会員や、病欠の会員に積極的に連絡を取っている
 はい 79.2% (57クラブ) いいえ 18.0% (13クラブ) 未記入 2.8% (2クラブ)

- 10 クラブの収支決算報告を、年1回以上は必ず行っている
 はい 100% (72クラブ) いいえ 0% (0クラブ) 未記入 0% (0クラブ)
- 11 例会は定刻に始まり、定刻に終わり、決められたプログラムによって行われる
 はい 100% (72クラブ) いいえ 0% (0クラブ) 未記入 0% (0クラブ)
- 12 例会はSAAが進行し、私語や勝手な行動を厳しく監督している
 はい 77.8% (56クラブ) いいえ 20.8% (15クラブ) 未記入 1.4% (1クラブ)
- 13 理事会は、クラブに対して理事会報告を必ず行っている
 はい 95.8% (69クラブ) いいえ 2.8% (2クラブ) 未記入 1.4% (1クラブ)
- 14 会員に対する重要なロータリー情報の伝達を定期的に行っている
 はい 91.7% (66クラブ) いいえ 6.9% (5クラブ) 未記入 1.4% (1クラブ)
- 15 クラブ会長、幹事選出はクラブ戦略計画により一定のルールが定められている
 はい 66.7% (48クラブ) いいえ 31.9% (23クラブ) 未記入 1.4% (1クラブ)
- 16 クラブ協議会は年何回行っていますか
 12回 1クラブ 8回 1クラブ 6回 4クラブ 5回 12クラブ
 4回 27クラブ 3回 8クラブ 2回 9クラブ 1回 7クラブ
 0回 1クラブ 未記入 2クラブ
- 17 クラブフォーラムは年何回行っていますか
 10回 3クラブ 8回 1クラブ 6回 4クラブ 5回 2クラブ
 4回 10クラブ 3回 7クラブ 2回 11クラブ 1回 11クラブ
 0回 13クラブ 未記入 10クラブ
- 18 新会員のオリエンテーションは必ず行っている
 はい 66.7% (48クラブ) いいえ 31.9% (23クラブ) 未記入 1.4% (1クラブ)
- 19-1 専属、若しくは合同の事務局員を雇っている
 はい 83.3% (60クラブ) いいえ 16.7% (12クラブ) 未記入 0% (0クラブ)
- 19-2 「いいえ」と回答された方に質問です。事務処理はどなたが行っていますか
 幹事 1クラブ 会計 2クラブ その他 1クラブ 未記入 8クラブ

20 ガバナー、ガバナー補佐の推薦について定期的に協議を行っている

はい 36.1% (26クラブ) いいえ 61.1% (44クラブ) 未記入 2.8% (2クラブ)

21 地区委員推薦について、定期的に協議し継続的に輩出している

はい 62.5% (45クラブ) いいえ 34.7% (25クラブ) 未記入 2.8% (2クラブ)

22 各部門のセミナー参加を会員に積極的に呼び掛け、出席者ゼロにならないように心がけている

はい 93.0% (67クラブ) いいえ 5.6% (4クラブ) 未記入 1.4% (1クラブ)

23 新会員サポートは、推薦者を含め複数の会員で行っている

はい 73.6% (53クラブ) いいえ 23.6% (17クラブ) 未記入 2.8% (2クラブ)

24 クラブの周年記念式典、及び事業の計画は、実行委員会を立ち上げ長期的に行っている

はい 90.3% (65クラブ) いいえ 5.5% (4クラブ) 未記入 4.2% (3クラブ)

25 戦略計画を立案するうえで、最初に取り組むべきことはクラブの長所と短所を挙げることからです
あなたのクラブの長所を挙げてください

◆2017-2018年度に戦略計画委員会を立ち上げ、17-18年度に4回、18-19年度に現在1回のクラブフォーラムを行いました。(今年度中にもう1回の開催予定)。その中で会員全員から出た意見を集約致します。『和気あいあいとしている。例会が明るく楽しい。クラブが活発である。活性化してきた。出席率100%という意識の高さ。クラブの年齢構成のバランスが良い。クラブの団結力がある。秩序が保たれている。委員長等クラブ内の役を快く引き受けてくれる等々…』(熊本江南)

◆若い会員が増えてきて活気が出ている(肥後大津)

◆会員間の交流(親睦)がしっかりとれているので何においても団結力がある(芦北)

◆会員同士仲がいいので、親睦を深められている。何の行事においても、本番に強い。女性会員も多い為(29名中6名)、クラブの雰囲気が良い(宇佐八幡)

◆ビジョンを考え、対応して行く計画は優れていると思います(宇城)

◆少人数だが、和気藹々としてクラブの雰囲気が暖かい。奉仕活動に熱心で、いろんなことをしている。年初め例会は家族も出席してくれるので、アウェイでの開催だが、美味しい料理やさんを探し皆満足している。プレゼント交換がととてももらい上がる。何かという時に一致団結がすごい(宇土)

◆クラブの親睦が図られている(臼杵)

◆戦略計画委員会は立ち上げているが、直面(周年行事)の事が重要で、その先の事の計画が立たない(熊本西稜)

◆会員相互の親睦と例会での会話が弾んでいる(津久見)

- ◆チャーターメンバーが1／3を占めていることからもうかがえるとおり、ロータリアンであることの自覚と自負を大切に抱いて、長期にわたり活躍している（その能力と人望とを有する）会員を核にしつつ、新入会員をあたたく迎え入れられる雰囲気や関係の良さ。
- ただの親睦、気まぐれの慈善に堕しないとの信念と熱いおもいをもっている会員が多いこと。
- 会員相互の経験、職業、人となりに対する尊敬、尊重を忘れることなく、また、年齢や職業、生い立ちにとらわれずに、親しく交流していること（熊本グリーン）
- ◆世代を超えて楽しく対等に交流ができる。紫陽花の手入れ、少年野球大会、餅つき例会の実施等継続した奉仕活動がある。異業種の集まりで異業種交流ができる（豊後高田）
- ◆奉仕活動の資金となるスマイルの目標額を160万円と設定し、国内外に盛んな奉仕活動を行っているところ（熊本西南）
- ◆最初に取り組むべきこと（会員増強対策）1）職業分類表の見直し・・・追加と削除 2）未充填箇所に対する検討・・・増強委員会と理事会との連携 3）退会防止対策と退会者への再入会の呼びかけ
- クラブの長所 一言で言うと「熱しやすく 冷めやすい」（佐伯MARINE）
- ◆創立62年目を迎えるクラブとして、常に先頭に立ち地域の社会奉仕に貢献している。またクラブ会員数の減少を抑制し、若い会員の加入促進に会員全員が健闘している。懸案であった女性会員の入会が実現し、将来的にも女性会員の増強が期待される（八代）
- ◆クラブ出席率が比較的高い。個人が演題に出て話す機会が多い（ニコニコ・卓話等）。例会回数が比較的多い（荒尾）
- ◆歴史のあるクラブなので、会長の発信したことには皆行動してくれると思う。例会でもきちっと運営していると思います（中津）
- ◆会員数が少ないため、和気あいあいとしたアットホームなクラブである（菊池）
- ◆会員数が60名であること。途中退会者が少ないこと。創立55年と歴史があること（日田）
- ◆会員同士が仲が良く家庭的。2012年に創立40周年を迎えるという長い歴史がある。平均年齢が比較的若い（肥後小国）
- ◆会員拡大。会員相互の信頼関係が確立されている（中津中央）
- ◆少人数のクラブでまとまっている。個々の意見を尊重している（熊本菊南）
- ◆クラブの雰囲気が良く、居心地が良い。比較的若い会員が多い（日田中央）
- ◆福祉に特化した奉仕活動をクラブの指針として活動しており、会員同士の絆も強い。男女半々の会員で構成しているクラブで、和気藹々と活動している（熊本‘05福祉）
- ◆他クラブより年齢層が若く企画立案から実行までスピードもって少数精鋭で対応できる。熊本地震の際も、益城町に対して炊き出しやイベントを開催して、できる限りサポートを行いました（熊本りんどう）
- ◆異業種交流ができる（玖珠）
- ◆50数年の歴史があり、ガバナーも輩出したクラブなので、伝統に裏打ちされた安定したクラブ運営がなされており、多少のトラブルにはビクともせず、優しく、また時には厳しく指導していただける先輩が大勢おられる（別府北）

- ◆約80年の歴史と伝統があり、地域のリーダー的存在である。職業の高い多様性を高く保持して、会員数も99名と多い(2/8現在)永年継続している事業が複数ある。子クラブが多数あり、長年継続している(熊本)
- ◆確実に着々と会員増強が出来ていることです。奉仕活動を積極的に行っています。台湾の姉妹クラブとの交流。またそれに伴う日台の青少年交流にも力を入れています(別府東)
- ◆洗練された大人のクラブ。会員全員が優しく、他人に対して思いやりを持った人が多い。いざという時のまとまりも強い(熊本東)
- ◆クラブ運営に対する会員の協力体制。例会場の充実(日出)
- ◆仲の良いこと(熊本北)
- ◆仲が良い(別府中央)
- ◆若手の入会により未来へ向かって希望が持てる。先輩会員が威張らない。皆仲が良く居心地が良い。欠席をしても責めない。IT化が進んでいる(熊本東南)
- ◆いろんな行動について意見がまとまるのが早い(湯布院)
- ◆会員全員が融和的、親和的であり、会員間のトラブルが少ない(熊本城東)
- ◆歴史と伝統がある。ロータリーを極めている人が多い。全国規模の大手企業支店長が多く在籍しているため、異業種交流が多く持てる。和気藹々である。会員間交流が活発である。べき論を述べる人が少ない(大分)
- ◆チャーターメンバーが1/3を占めていることからもうかがえるとおおり、ロータリアンであることの自覚と自負を大切に抱いて、長期にわたり活動している(その能力と人望を有する)会員を核にしつつ、新入会員をあたたく迎え入れられる雰囲気や関係の良さ。ただの親睦、気まぐれの慈善に堕しないとの信念と熱い思いをもっている会員が多いこと。会員相互の経験、職業、人となりに対する尊敬、尊重を忘れることなく、また、年齢や職業、生い立ちにとらわれずに親しく交流していること(熊本グリーン)
- ◆雰囲気・居心地・仲が良い。シンプルな運営。55年以上の歴史(大分東)
- ◆若さと明るさ。仲が良い(熊本平成)
- ◆会員ひとりひとりが、先輩・後輩・世代を超えて互いの存在に敬意をはらい尊重しあえる友愛クラブ(大分臨海)
- ◆女性会員数の多さ(熊本水前寺公園)
- ◆海外を含め事業を沢山行っていて、活動が活発である(大分南)
- ◆歴史のあるクラブである。団結力がある(本渡)
- ◆会員数が70名を超えており、戦略計画立案にあたり多様な人的資源を活用することができる(大分中央)
- ◆年齢を問わず先輩・後輩の親睦がある(牛深)
- ◆若手とベテランと、年代を超えて話が出来る環境にある。言いたいことが言える環境である。和気あいあいとした雰囲気である。若手(30代、40代)が多く活気がある(大分1985)
- ◆会員21名の中でロータリー歴15年以上が12名います。団結力がある(天草パールライン)

- ◆当クラブは、人口約8000人の苓北町で活動しております。小さい町での活動ですので、出席率も良く、いろんな活動をするにも、お互いに連絡を密に取り合い、この町に必要な情報を収集し、即座に誰かが提案して活動可能かを議論して実行に移すスピードの速さが長所です（西天草）
- ◆会員同士の関係が良好で、和気あいあいとした雰囲気がある。ベテラン会員にも柔軟性があり、新しいことをやる場合でも協力してくれる（大分城西）
- ◆パスト会長など我がクラブのお歴々が若輩者や会員年数5年未満の人たちに優しく、心から接していただけることです（天草中央）
- ◆「オンとオフ」がある。密な意見のやり取りがある。卓話の充実、そしてアーカイブされる。例会参加に1週間の時間的余裕があり、いつでもどこでも参加できる。県外メンバーをはじめ国際色豊かで、平均年齢45才と若い（2720 JAPAN. O. KロータリーEクラブ）
- ◆世代交代がスムーズに行われ、メンバーの減少を食い止められた（熊本南）
- ◆近年、会員数が減少し従来の賑やかさはなくなりましたが、その分アットホーム的な感じになり、以前より会員同士の親睦は十分できているように感じられる（竹田）
- ◆クラブの事業に会員全員が積極的に参加協力しているところ（佐伯）
- ◆会員相互のコミュニケーションは円滑であり、その関係性は極めて円満であること（熊本西）
- ◆夜の例会で集まるのに都合が良い（酒は出ない）12名という少人数で殆ど同じ会員で長年続けているのでお互いをよく知り和気あいあいの中で進められる。決まったことはすぐに実行できる（豊後小野）
- ◆和気あいあい、親睦活動をはじめ長期的に継続した事業にも取り組むなど、ロータリー活動に積極的であること（熊本中央）
- ◆比較的若い会員がいる（臼杵中央）
- ◆青少年育成の継続（八代北）
- ◆会員間の年齢差による会の運営弊害もなく、各委員会事業への参加も良いと思う（宇佐）
- ◆楽しい例会、明るい交流（八代南）
- ◆会員同士の親睦も良く取れていて、和気あいあいとした雰囲気がある（杵築）
- ◆63年の歴史があり、経験豊富な会員が多く良く指導されている。アクティブな会員が多い。クラブ独自の奨学金制度を設けている。定款細則に則った会の運営がしっかりなされている（人吉）
- ◆例会出席率が良い。例会の雰囲気が良い。各委員会活動（行事）には積極的に協力する（宇佐2001）
- ◆クラブ運営の立場として、昼例会の出席率は横ばいですが、年数回行う夜間例会は出席率が非常に高い。インターアクトクラブがある（水俣）
- ◆先輩会員が若手会員の思いを良く聞いていただくこと。大変アットホームなクラブである（多良木）
- ◆社会奉仕活動やポリオ・災害支援のための募金活動を多くやっている（くにさき）
- ◆活気がある。事務局がないため会員自身のロータリーについての知識が高い。会員間の上下がない。ホーム出席率が高い。地区出向率が高い（大分キャピタル）
- ◆経験のある会員と経験の浅い会員が、うまく調和してクラブ運営ができている。ロータリーの歴史や過去の経験を話してくださるメンバーが多い。伝統的なものを大切にする傾向がある。（別府）
- ◆明るい自由な雰囲気。新会員が連続して入会している（人吉中央）

26 あなたのクラブの短所を挙げてください

- ◆例会の出席率が悪い（大分南）
- ◆会員出席率（熊本水前寺公園）
- ◆例会出席率が60%程度であり、向上の必要性がある（大分中央）
- ◆新入会員に対する教育指導体制が十分でない。一部の会員による私語を制止する意識がSAA担当者にかけている。各委員会の引き継ぎがしっかり行われていない。スポンサークラブという認識が会員にかけている（本渡）
- ◆ベテランの事務局員さんに任せてしまっているところが多く、勉強が足りないところがある（大分1985）
- ◆会員の高齢化。地域の人口減少に伴う会員減少（牛深）
- ◆会員の平均年齢が約63才と高く、上記の長所の活動をする際にどうしても年齢の低い若手に負担が大きくなってきている（西天草）
- ◆伝統を重んじる傾向が強いところ（芦北）
- ◆地区大会やセミナー等、地区の行事に行く人が少ない。奉仕作業の出席率が低下気味。地区委員に出向しない。未来のリーダー候補はいるが、ロータリー活動に関わる機会が少ない（宇佐八幡）
- ◆会員数の減少により、良いアイデア出ていても実行出来ない事が有りますが現在は少人数でやれる事から行っています（宇城）
- ◆会員増強ができない。出席率が伸びない。少しマンネリ化している（宇土）
- ◆会員の高齢化、会員の減少で活気に乏しくなっている。会員の減少により活動資金が少なくなっている。地区補助金を使うにしても十分な金額が使えない（臼杵）
- ◆雰囲気よさ、あたたかさに甘えて、メイキャップしてでも「出席」を確実にしめねばとのおもいが他クラブに比較して希薄（報告者自身の甘え、反省を込めて）（熊本グリーン）
- ◆欠席者に対して寛容すぎる（熊本西稜）
- ◆出席について — ホームクラブ例会の出席率は高くない。出席が厳しすぎる。委員会について — 委員会の負担が大きい。交流が少ない。引継ぎが出来ていない。国際ロータリー、ロータリークラブへの理解不足 — 関心を示さない。なににながよく分からない。新会員のフォローが足りない。もっと積極的に。以上のような意見が出ました（熊本江南）
- ◆一言で言うと「熱しやすく 冷めやすい」（佐伯MARINE）
- ◆若い新入会員の確保が進んでいない。漸減傾向にある（津久見）
- ◆八代地域で最古のクラブであり、ロータリアンとしてクラブカラーも保守的でも在る。会員数も80名と多く、10年以上の在籍会員が30数名居る中で若手会員とのコミュニケーションが上手に出来ていない感じがする（八代）
- ◆例会の出席率が悪い。年配の会員がセミナー等に参加したがる（肥後大津）
- ◆会員数が26名で、人員や予算規模が小さい。地域と連携した奉仕活動が実施できない（大分城西）
- ◆短所は特に見当たりません（天草中央）

- ◆歴史が浅く、ロータリー歴3年未満が大半。例会の開催にあたって、特定のメンバーに負担がかかっている。スマイル、寄付の重要性について理解していないメンバーも多い。例会参加の障壁が低いはずだが、出席率は80%台が多い。絶対的な距離があるため、実際会える頻度が少ない会員も一定数いる（2720 JAPAN. O. KロータリーEクラブ）
- ◆現役会員6名の出席がむずかしい（天草パールライン）
- ◆会員数が少ない。女性会員がいない。会員が高齢化 平均年齢66歳 若い会員を入会させたい（竹田）
- ◆若手会員やロータリー歴の浅いメンバーが増加したので、事業の組立方や考え方が不十分である（熊本南）
- ◆特にありません（佐伯）
- ◆少人数のクラブ故に、クラブとしての事業・活動に人員的、財政的制約を強いられてしまいがちなこと（熊本西）
- ◆それぞれの会員が複数の委員会を掛け持ちしており、一つの委員会に対して意見の数が少なく掘り下げた議論がしにくい。分区内のクラブが離れており、メーキャップが出来ず外部からの刺激が少ない（豊後大野）
- ◆会員の増強が弱い（熊本中央）
- ◆出席率が低い。会員の減少（臼杵中央）
- ◆例会出席率が悪い（八代北）
- ◆会員拡大での女性会員拡大意欲が無いように思われる（個人的意見です）（宇佐）
- ◆出席率が悪い（八代南）
- ◆上記長所の裏返しであるが、馴れ合いの傾向がある。少数の会員を除いて、積極的にセミナー等参加する意思が希薄。短所とは一概に言えないが、会員の平均年齢も高くなり、様々な役を依頼しづらい（杵築）
- ◆会員増強が今一步弱い。年度により、委員会活動に温度差がある。高齢化が進みつつある（宇佐2001）
- ◆会員が少ない。出席率が悪い（くにさき）
- ◆会員の約3割がパスト会長で、今後の会長の人選に苦慮する。会員のロータリーへの取り組みの価値観に温度差がある。公共へのロータリー活動のアピールが下手（人吉）
- ◆会員が60名になりますと古参会員、若手会員の温度差があり、ロータリーも今や時代と共に変わっていく中、古参会員をどう今のロータリーに沿った流れに合わせていくかが大変です（中津）
- ◆年々会員数が減少傾向で、会員増強をクラブ一体となっていって行っていない。地元中小企業の入会がほとんどない状態である。メークアップ率が低い（水俣）
- ◆出席率が低下していること。会員数が比較的多いため、ベテランと若手に多少ギャップがあること。第2720地区としての活動にあまり参加しないこと。地区の各委員会委員長や委員として活動する機会が少ない。地区大会や協議会へは参加しているが、各クラブの周年事業などの参加が少ない（日田）
- ◆会員数が少ないため、大きなイベント（事業）がやりにくい（多良木）
- ◆会員が減少している（山鹿）
- ◆ロータリーセミナーへの参加者が少ない。出席率が低い会員が複数いる（人吉中央）

- ◆ロータリー情報の不足（ロータリーの魅力がわからない会員）。魅力ある奉仕活動不足。職務多忙（経営が一人の場合多忙で会長幹事に就くことが出来ない）例会、委員会活動のマンネリ化（玖珠）
- ◆会員の高齢化が進んでいる。なかなか新しい事業案が出てこない。自分も含めて年浅の会員はメイクアップが少ない（荒尾）
- ◆近年、出席率の低下。特にロータリー歴の浅い会員の欠席が目立つことです（別府東）
- ◆会員が少人数のため、何事にも果敢に挑戦していくような気概がなく、クラブ全体に覇気が無い（菊池）
- ◆例会の出席率が悪い。個人事業主が多く、仕事を中心になってしまうため、活動出来る人が少ない。山間地の地域のため隣接するクラブとも距離がある（肥後小国）
- ◆会員数の伸び悩み。ホームクラブ出席率の低下（日出）
- ◆今は活動に限度があるように感じる（熊本菊南）
- ◆会員が少ない（別府中央）
- ◆クラブの半数近くがパスト会長で、次の会長候補者が少ない。会員数を増やさないと奉仕活動をしように思っても財政が厳しい（日田中央）
- ◆会員15名の弱小クラブであり、活動基盤が弱い。会員の高齢化が進んでおり、やや活力に欠ける（熊本‘05福祉）
- ◆メンバーが少ない。昼の例会のため仕事で欠席が多い（湯布院）
- ◆他の歴史あるクラブと比較して会員数が少ない（熊本りんどう）
- ◆平均年齢が高い。女性会員が居ない。活動の独自性が薄い。全員参加型の活動が少ない。継続事業が無い（大分東）
- ◆平均年齢は62.87歳（H30.7.1 現在）であるが、年齢構成比を分析すると高齢化が進行している。（30～50歳台の会員増強と新会員制度を検討する）近年、新規事業がない（熊本）
- ◆クラブ活動の外部への配信力が弱い。闘争心が弱い。奉仕活動の参加会員に偏りがある（大分臨海）
- ◆わからない（無いかも？）（熊本東）
- ◆ロータリー知識の欠如。地元会員が少ない。極端な高齢化のためクラブ奉仕が少ない。出席率の低下。転勤者が多いため、役割分割に限られる。会員が他の会議体や機関の役職兼務者が多く、自ら動く活動に消極的（大分）
- ◆会員数が減少していること（熊本北）
- ◆ごく一部会員だが会費だけ納めてほとんど欠席。よってクラブ例会出席率が85%と悪い（熊本東南）
- ◆若い会員が特に忙しいのか出席率が良くない（熊本城東）
- ◆出席率の低下（熊本平成）
- ◆歴史あるクラブだけに、伝統を守って安定したクラブ運営にこだわりすぎて、新しい変化や対応に対して、少し消極的な面がある。最近になってやっと女性会員を迎えられた（別府北）
- ◆会員の増強に対しての画期的な活動がなかなか出来ていない。自分の職務担当には興味があるが、他のことはあまり関心が向かない傾向があるのでは。単年度で考えることが多く、複数年の戦略計画を全員に理解してもらうことがやや困難（別府）

◆ない…と思う（大分キャピタル）

27 次に地域社会に存在する機会と課題を挙げてみましょう

まず、地域の新たな動きはありませんか？ 地域のニーズを考え、書き留めてください

◆地域の特産品の発信ならびにブランディング（芦北）

◆市役所や平和ミュージアムの新規建設。子どもたちのスポーツ能力を向上させ、宇佐からプロ選手を輩出。※私事で恐縮ですが、仕事ばかりして地域に対する視野が狭く、機会や課題が分かりません（宇佐八幡）

◆熊本地震の体験により、クラブでいろいろ奉仕活動をして来ました。やはり、行政の届かない所にロータリーならではの奉仕活動があったと思います（宇城）

◆熊本地震から3年経つが、次なる支援を考えている。市役所の建設等これからロータリーとして復興にお手伝いできることを模索している（宇土）

◆少子高齢化、地域経済の停滞、人口減少などに伴う公共（あるいは民営）サービスの低下がある。具体的にはバス路線の廃止、買い物難民、医療難民（高齢者には移動手段がない）に対するニーズがある（臼杵）

◆震災復興途上（熊本グリーン）

◆クラブとしてRCC立ち上げに関心を持っている（熊本西稜）

◆・人手不足 ・健康増進 ・空き家問題 ・商店街活性化 ・世界ラクビー開催 ・世界ハンドボール開催 ・熊本城ホール等新施設の建設 ・熊本駅のリニューアル等（熊本江南）

◆以前より地元根付いた活動を行っており、地域のイベントや清掃などに協賛、参加しております（熊本西南）

◆大手前再開発による地域文化の発信や周辺地域の経済環境の変化。街づくりのための若者たちへの支援。地域の高齢者への支援（佐伯MARINE）

◆ロータリークラブの活動の見える化。クラブ内だけでなく、地域での積極的な奉仕活動。青少年の育成支援（津久見）

◆この5年間で海外からのクルーズ船が年間、数十隻寄港し多くの外国人観光客が八代港を利用。2020年度には八代港に専用の岸壁とターミナル施設が完成し、年間200隻を超えるクルーズ船を迎える。外国の観光客に八代の魅力をアピール出来るクラブ活動奉仕を模索したい。また20年振りに米山奨学生を受入れるので、世話クラブとして奨学生に有意義な1年間を与えたい（八代）

◆少子化・後継者不足などによる地域の衰退（八代北）

◆潜在的な貧困。外国人観光客の増加（人吉）

◆市役所が新しく生まれ変わる。南九州自動車道が水俣から北は開通（3/2）します（水俣）

◆地域でのロータリークラブの認知度が低いので、今まで以上の地元の個人、団体との交流の場を増やすこと（多良木）

- ◆地域では行政が音頭を取って青少年育成（こども未来P J）に力を入れている。若者の地域定着性をUPさせる施策（荒尾）
- ◆人口減少問題（10年で約4,000人減）高齢化社会（高齢人口32%）子どもの貧困問題。3点ともにどれも大きな問題であり、対応が難しい。その中では、子供の貧困対策として、子供に無料、低料金で食事を提供しているマザー&チルドレンという団体があるので、タイアップして、より効果的な活動ができないかと検討中である（菊池）
- ◆町が地熱資源などを活かし「SDGs未来都市」「自治体SDGsモデル事業」に選定され、今後具体的な取り組みが始まろうとしている（肥後小国）
- ◆福祉活動に特化したクラブであり、各方面に活動の輪を広げていきたいが、活動基盤が脆弱なため、活動に制約が出てくる（熊本‘05福祉）
- ◆熊本空港民営化。菊陽町から空港までJR構想。熊本市内桜町開発。益城町4車線化。益城町給食センター始動（ライオンズクラブ様より支援）ラグビーワールドカップ。女子ハンドボール世界大会（熊本りんどう）
- ◆特になし（熊本）
- ◆熊本地震からの復興と、経済の二層化による貧困対策（熊本東）
- ◆都市再開発と都市交通再編計画。震災復興（熊本城東）
- ◆特になし（熊本平成）
- ◆別府市では2年前から43歳の新しい若い市長となり、別府市のために観光、文化、スポーツイベント誘致のキャンペーン等に画期的な試みを行っている。ワールドカップラグビーのキャンプ地にも選ばれ、古いものから進歩していこうという気運が高まっていると思う（別府北）
- ◆崎津集落の世界遺産登録に伴う観光の課題（本渡）
- ◆熊本市内まで車で3時間かかり、しかも鉄道が通っていないので、車での移動しかないにもかかわらず、これまでは道路の整備がなされていなかったが、ここに来て高規格道路などの整備で少しずつ交通網が改善されている（西天草）
- ◆今後我が市（天草市）において人口減少や少子高齢化に伴い、6年後には高齢者人口が生産年齢人口を逆転すると予測されております（天草中央）
- ◆地域に根づいたロータリー活動の必要性があるのではないかと考える（熊本南）
- ◆インバウンド対策（熊本西）
- ◆役年前に地震があったので、小学校・中学校へ支援した（熊本中央）
- ◆宇佐市都市計画マスタープラン（いわゆる将来設計）を行政が進めています。プランの中でロータリークラブが協力できることを見つけていきたいと思う（宇佐）
- ◆重伝達地区に指定されたこともあり、町並を観光に訪れる外国人旅行者も年々増加している。人口減少の中@、今の街並みを維持、保善していくことがこの町のアイデンティティ（杵築）
- ◆外国人技能実習生の増加。外国人観光客の誘致と再訪客の対策（宇佐2001）
- ◆環境保全活動「河川の美化・海がめの保護」等の活動が以前から行われているが停滞している。2018年の六郷満山1300年祭に伴って増えた流動人口の活かし方（くにさき）

- ◆日田には咸宜園や祇園などの文化遺産がありながら、認知度が低い。福岡市へのアクセスは決して悪くないので、もっと人が集まるような対策を考えるべき（日田）
- ◆当クラブは別府に所在しております。近年、インバウンドの訪日客増加に伴いホテルの建設ラッシュ！街の活性化が顕著に見られます。ここで街の清掃活動やボランティアガイドの育成などが求められていると思います（別府東）
- ◆充実した観光資源を活用した町の活性化（日出）
- ◆インターコンチネンタルホテルができる（別府中央）
- ◆高齢者の増加（日田中央）
- ◆インバウンドに対応するための行動が盛んになってきている（湯布院）
- ◆観光客、留学生、労働者のすべてで外国人が増えてきている（大分南）
- ◆ラグビーワールドカップ開催。大分駅南北の町並み整備が進んでいる。海の幸、山の幸が豊かである。温泉県のPRを行っている。県庁所在地で情報や文化施設がある（大分）
- ◆大分スポーツ公園総合競技場にて 2019 年ラグビーワールドカップグループ予選ファイナル大会が 10 月に開催されます。大会を見に訪れる海外の観光客との文化交流イベントが大分市で実施予定です。市民を巻き込み、大会を盛り上げるためにも、老若男女へ啓発活動が必要です（大分臨海）
- ◆マンションの開発など、中心市街地の再開発が進む一方で、新規入居者と地域住民の交流が十分ではない（大分中央）
- ◆調査できていない（大分城西）
- ◆第4グループに所属している我々ではございますが、Eクラブは地域という概念を超えたクラブです。そこで、会員それぞれの住む地域の課題を掘り起こし、遠隔でも支援・奉仕できる体制を整えることが課題だと考えます。例えば、災害にあった地域の会員がいる。そこで、その地域のロータリークラブと連携して、支援物資のとりまとめを行い、全国のロータリアンに発信して支援物資を適宜届ける。など、地域のクラブ間をつなげる役割を担える可能性があると考えます（2720 JAPAN. O.KロータリーEクラブ）
- ◆こども診療所を建設したが、小児科の医師がいない。市城下町交流プラザ建設を進めているが、落札業者がいない。人口の減少に歯止めがきかない。移住者もたくさんいる報告があるが死者打上回っている（竹田）
- ◆特にありません（佐伯）
- ◆子どもたちの健全育成を目指したこども食堂が出来、地域に根差し拡大しようとしている。クラブも関わりを持つことになったが、ニーズに応えられるように協力していきたい（豊後大野）
- ◆人口の減少、少子化、超高齢化（臼杵中央）
- ◆グローバル化。ダイバシティ構想。デジタル化（大分キャピタル）
- ◆別府という観光地というニーズが国際的にも見直されて来ているのではないか。新規のホテルの建設や、ホテルの買収や経営譲渡も出て来ています。外国人観光客も相変わらず多い（別府）
- ◆国際化・・・観光都市としてインバウンドが増加中。市民の意識の国際化が必須（人吉中央）

28 地域社会に存在する課題は何ですか？

- ◆少子高齢化につきる（佐伯MARINE）
- ◆ロータリークラブの奉仕活動を市民の皆さんにもっとアピールする（豊後高田）
- ◆過去に周年事業で旧城跡周辺の美化と市民の憩いの場を整備したが、老朽化した噴水設備などを整備し直して、多くなる外国人観光客や市民に憩える場として活用（八代）
- ◆少子化・後継者不足などによる地域の衰退（八代北）
- ◆質問の意図が理解できません（宇土）
- ◆日頃から、災害に対する危険予知をクラブでも考えていますが、形にする手段を検討しています（宇城）
- ◆歯止めのきかない人口減少。外国人観光客の増加（人吉）
- ◆ロータリークラブをもっと知っていただき、ロータリークラブの存在というものを分かっていたきたい。活動内容が理解されていないのでは？（水俣）
- ◆ロータリークラブ認知度アップのため、マスコミ等を積極的に活用して、また他者からの意見を聞いていく（多良木）
- ◆地域活性・雇用創出（芦北）
- ◆熊本地震での仮設住宅がまた残っているので、その支援等（肥後大津）
- ◆職業倫理を重んずる職業人でなること（中津中央）
- ◆少子高齢化に伴う人口減少（過疎化）。地域や商店街の活性化。観光振興（玖珠）
- ◆多くの外国人が住む街でもあります（APUの学生等）国内の人口減から人材不足も叫ばれています。そこで地元企業と国際学生をつなげる懸け橋になれると良いなと考えています（別府東）
- ◆社会的弱者への支援、次世代育成のまちづくり（日出）
- ◆少子化（別府中央）
- ◆人口減少、若い世代が少なくなっている。企業が少ない。競合する奉仕団体がある。提唱しているローターアクトの会員減少（日田中央）
- ◆地元の方、企業が少なくなっている。湯布院という地域のため他市、他県、他国の企業が多くなりつつあり、一体感が薄れてきている（湯布院）
- ◆人口減少、高齢化（今から）（大分南）
- ◆格式が高く敷居が高い。PR不足・情報の発信力が弱い。空港までのアクセスの悪さ。大分市都町の設備（大分）
- ◆単身高齢者や母子家庭の貧困問題。少子高齢化。生産年齢人口の減少（大分臨海）
- ◆マンションの開発など、中心市街地の再開発が進む一方で、新規入居者と地域住民の交流が十分ではない。課題に対するロータリーとしての活動としては、子供屋台など地域交流の一助となるような活動を活発化する（大分中央）
- ◆調査できていない（大分城西）

- ◆上記で記したとおり、私たちは地域という概念を超えております。例えば、日本では子どもの貧困率は20年で倍になっている現状であります。この現状を見たときに、私たちのクラブとして何かできることはないか、を考えます。そのように、一つひとつの課題を見て感じ、フレキシブルに動ける体制をつくることと考えます（2720 JAPAN. O. KロータリーEクラブ）
- ◆みんなのためになるかどうか（竹田）
- ◆人口減少による小規模事業者の減少。生産年齢人口の減少（佐伯）
- ◆27の回答に同じ（少子高齢化、地域経済の停滞、人口減少などに伴う公共（あるいは民営）サービスの低下がある。具体的にはバス路線の廃止、買い物難民、医療難民（高齢者には移動手段がない）に対するニーズがある）（臼杵）
- ◆高齢化社会による交通事故の増加。事故から高齢者や子どもを守る地域の取り組み。遊びやものづくりを通じた大人と子どもとのふれあい（豊後大野）
- ◆様々な奉仕活動の実践で、地域社会での市民権を得て、ひいては会員増強につなげていきたい（臼杵中央）
- ◆現在特にならない（熊本中央）
- ◆宇佐市内各地域の商業機能の低下による空洞化が問題となっています（宇佐）
- ◆上記のような現状（27の回答）であるが、観光客に対して積極的に消費を促す。ホテル、土産物店、食事スペース等が無い（杵築）
- ◆家族で集う場所が少ない。市内の範囲が広い為、分散化してしまい地域PRがままならない。※地域社会に存在する課題が正直なところわかりません。このような問題は各地域で子育て中の主婦が一番把握しているかもしれません（宇佐八幡）
- ◆少子高齢化と、それに伴う労働人口の不足。空き家対策（宇佐2001）
- ◆人口減少とそれに伴う地域力の低下（くにさき）
- ◆少子高齢化と人口減少。商業施設（商店・事業所）の廃業の加速化（津久見）
- ◆生活環境はだんだん都市型に向い、地縁的なつながりはだんだん希薄になり、コミュニティの維持が困難になっていくのでは！（中津）
- ◆人口減少と少子高齢化（他の地区も同様だと思いますが）前記により働き手が少ない。後継者が決まっていない会社が多い（日田）
- ◆人口減少（山鹿）
- ◆少子高齢化。大きな企業が少ない。大きなイベントが少ない（荒尾）
- ◆人口減少問題（10年で約4,000人減）高齢化社会（高齢人口32%）子どもの貧困問題（菊池）
- ◆少子高齢化、そして過疎化という全国的な問題に直面している自治体で、地域の高校生も減少しており、インターアクトクラブの活動も難しい状況となっている点（肥後小国）
- ◆熊本市と隣接しているのだが、会社等が少ない。ロータリアンは選ばれた人であるので、誰でも云う訳にはいかない。質が大事と考える（熊本菊南）
- ◆福祉に関心を持っていただくための奉仕活動を行うことで地域社会に存在する価値を探す（熊本‘05福祉）

- ◆熊本地震から3年目に突入しますが、まだまだ復興が厳しい状況です。家を建設できない状態の人がいる。仮設住宅に入居している人で期限が来た場合に、目途が立たない人もいる。益城町住居の擁壁修理待ちにより、自宅がまだ建設できない人たちがいる（熊本りんどう）
- ◆少子高齢化により会員数も減少する恐れがある。IT化への対応が困難である。競合する組織がある（熊本）
- ◆少子化対策。子どもの進学問題（奨学金制度など）（熊本東）
- ◆熊本地震からの復興道半ば。人口減少、少子高齢化社会の到来。地下水位の低下（熊本東南）
- ◆いじめなどの青少年問題。高齢者の増加に伴う介護、見守りなどの問題（熊本城東）
- ◆特になし（熊本平成）
- ◆ここ数年の地震等の自然災害や、それによる風評被害からのダメージから、まだ完全に立ち直っておらず、本当の意味での活気に満ちている訳ではない（別府北）
- ◆上記の道路の問題もあるが、活動する苓北町は、高齢化と人口流出で国からの苓北火電に対する交付金に頼らなければならない状況にある。何とか自助努力で農業を中心とした産業を活性化したいのだが、今のところ、出来ていない。（西天草）
- ◆人口減少と高齢化に伴う消費の減少と商圈の衰退（本渡）
- ◆高齢化社会を迎える天草ではありますが、高齢者も若い人も安心して暮らせる社会基盤の整備を進めることはもとより、豊かな自然や食材、世界に誇れる歴史などの地域の宝を組み合わせた交流人口増加策を広域的な視点でロータリークラブも取り組んでいく必要があります（天草中央）
- ◆地震からの復興や、インフラ・公共交通機関の不便さ（熊本南）
- ◆・熊本地震のまだ残る傷跡　・少子高齢化の進展　・目に見えない貧困格差の増大　・母子(父子)家庭の急増とそれに付随した子供の貧困　・貧困による子供達の学力格差による負の連鎖　・高齢者の増加と所得格差　・外国人の増加による治安の不安　・障害者の増加(特に精神)（熊本江南）
- ◆熊本地震による復旧の遅れ、液状化など（熊本西南）
- ◆海外、県外から観光産業への資本参入に対して、地元の企業や観光業者がどのように生き残っていくのか。差別化なのか、調和なのか、それ以外の方法なのか選択を迫られる時期であることがこの地域の課題だと思います（別府）
- ◆高齢化。地域格差。貧困層の増加。結婚願望のない若者の増加（大分キャピタル）
- ◆貧困格差。若年層の流出。少子高齢化など（人吉中央）

29 戦略計画とは、「こういうクラブになりたい」というビジョンを描き、その実現に向けて目標を立てるプロセスです。クラブの活性化を図るうえで、今、クラブが行うべきことは何だとお考えでしょうか？そして、クラブのリーダーである、あなたのクラブ活性化のビジョンをお聞かせください

- ◆これまで継続してきた奉仕プロジェクト以外にも奉仕の機会を増やしより一層地域社会における存在価値を高めた。存在価値を高めていき、仲間(会員増強)を増やしていきたい（芦北）

- ◆「ともに考え行動する全員参加型のクラブ」その為には、まずは会員自身がロータリーを知らなければならぬと思います。親睦を深めながら皆で学び、委員会活動を以前のように活発に開催することで多様な奉仕を見出し、地域や世界にロータリークラブの存在を知って頂けるように活動します。充実した親睦・奉仕を行うことで、退会防止にもつながり、新たな仲間も増えるはずで、例会のプログラムを利用して委員会会議にあて、会員に時間的負担も与えないように留意し、今の時代に合う楽しいロータリー活動を色々試してみたいです（宇佐八幡）
- ◆クラブの活性化を図るうえで、クラブの若返り 20 代からでも入会できるクラブのシステム。新入会員のオリエンテーションの充実にはビジョンを考えて、一会員では無く早くに役職を経験してロータリー活動が楽しく出来て指導が出来る会員を沢山増える事により活性化が出来ると思います（宇城）
- ◆会員増強。例会の中身の充実。＊地元の商店街や経営者等を卓話にお招きして、ロータリーに親しんでもらい、会員増強に結びつける。＊今は会員が少なく、予算が厳しいこともあり卓話等例会がマンネリ化しているような気がする。会員も喜んで例会に参加してもらえ、例会作りをしたい（宇土）
- ◆実際に行動できる会員は現役で仕事をしている比較的若い会員がほとんどだと思います。その多忙な中で、皆が時間を割いて、あるプロジェクトを計画し、実践するには、時間、金銭面が限られてきます。そのような制約の中からできることは、継続してできて、一度に多くの資金をかけずに、時間的に負担の少ない事業を思いつくことです。現在、図書への寄贈を行なっていますが、それ以外に現在思案中です（臼杵）
- ◆会員増強に力を入れる。退会防止のために特に新会員のサポートを強める。各行事への参加を促す（豊後高田）
- ◆チャーターメンバーや長期在籍の会員を範として、ロータリー自体やクラブの歴史や意義について今一度理解を深めるとともに、先輩会員らが「これからは若い世代が・・・」と、積極的な参画・発言を控えることがないよう（そのようなことになっては、当人にとってもクラブにとっても後進にとっても大損失である）、協議や奉仕活動のいずれにおいても、全員参加を大切にしていきたい（熊本グリーン）
- ◆RCCを立ち上げ、RCCと協力して地域社会のニーズを取り入れ、社会に貢献し、クラブの活性化につなげたい。30周年記念事業を入口（きっかけ）とし、その後も事業を継続したい（熊本西稜）
- ◆過去に年4回、戦略計画委員会を立ち上げて、クラブフォーラムを実施しました。そして、そこから1つのクラブビジョンが生まれました。『熊本江南ロータリークラブ及び会員一同は、多くの子供たちを対象に、心身ともに健全な成長に寄与する奉仕活動を行います。』このクラブビジョンの具体的活動を次年度熊本江南ロータリークラブが50周年を迎えることと合わせて、継続的奉仕活動を早急に模索する予定です（熊本江南）
- ◆会員増強。より必要とされる奉仕活動の模索と実施（熊本西南）
- ◆激減した会員数を中長期的な目標設定で回復させ、安定的な運営を目指すこと。入会の浅い会員をクラブの中核的ポストへ登用し、将来を担う人材づくりをおこなう。＊30周年を迎えようとしているが、50周年を見据えることのできるような人材づくり（現状からみると、大半のメンバーは消えてしまっていると思われる・・・）（佐伯MARINE）
- ◆会員の例会出席が楽しみになるプログラム作成・例会運営。新入会員の獲得と退会の抑制（津久見）

- ◆当クラブは創立62年目と歴史と伝統のあるクラブが故に、ロータリアンとしての誇りと奉仕の精神をモットーに、地域社会に認められるクラブ活動を目指したい。本年度に創立以来初めての女性会員を迎え、更に女性会員の会員拡大を目指して歴史と伝統を重んじ、今日よりも明日と未来を見据えた老若男女で和気藹々の、楽しいクラブ創りをビジョンとして目指したいです（八代）
- ◆会員増強。地域に活動を知ってもらいたい（肥後大津）
- ◆会員増強。増強のためには現有会員に、ロータリアンとしての自覚と知識を持ってもらうことから始めなければならない（くにさき）
- ◆中津RCは久しぶりにガバナーを輩出します。これは中津RCにとって大いなる活性化のチャンスです。このチャンスを有効に使うことこそが若手会員の活性化につながり、クラブの永久的な活性化につながると思います。まずは会員増を目標です（中津）
- ◆まずは出席率を向上させることが最重要課題である。これまで日田RCでは例会の出欠を確認していなかったが、今期より例会日前にLINEを使い、欠席の連絡をしていただくことにした。これにより出席することの重要性を意識できるだけでなく、無断欠席をなくすことで昼食代の無駄使いを減らすことが可能になります。私はロータリークラブは部活や趣味のようなものだと思います。ロータリーは日々の仕事のストレスから少しでも解放されるための大事な時間です。例会に参加することは楽しくあるべきです。特に会長や幹事の仕事は激務ですので、彼らがロータリーを嫌いにならないように会員全員で彼らをしっかりとサポートしなければなりません。気持ちは「入れすぎず」しかし「離れすぎず」のスタンスが肝要だと考えます（日田）
- ◆会員増強のために普及に力ををれる（山鹿）
- ◆会友が出席して楽しい。次回も出席したいと思えるような例会作りを工夫したい。少なくとも40名以上の会員を維持をする（会員増強）（荒尾）
- ◆先ず第一に会員増強である。何をやるにしても、会員が少ないのは悩みの種である。2020年には、クラブ創立50周年を迎えるので、現在の18名の会員数を30名目標に頑張りたい。具体的には、各年度ごと4名増の3年で12名増員し、30名の会員で創立50周年の事業を成功させたい（菊池）
- ◆例会の出席率を高め、会員同士のコミュニケーションを一層強化し、社会奉仕活動や国際奉仕、青少年奉仕など具体的なアクションを起こせるようにしたい（肥後小国）
- ◆会員増強に力を入れ、新入会員が多いのでロータリーに関する勉強会をやっていく。地域に対しての認知度を高めたい（熊本菊南）
- ◆当クラブは、活動基盤が脆弱であるために活動にも制約を受ける現状である。これを解決するには、先ず会員を増強して活動基盤を強固なものにすることが第一であり、そのためには、各会員が問題意識を共有し、一丸となって会員増強に取り組むことが必然である。次期は、協調性・活動力・指導力・知力等、すべてに富んだ会員に会員増強委員長に就いていただき、クラブを挙げて一名でも多くの怪異の増強を図り基盤強化に努めていきます（熊本‘05福祉）
- ◆新しい時代に対応する会員増強を検討する。対応策として、「親子会員」や「家族会員」といった新たな会員制度をつくり、クラブ細則の修正等の検討を行う。永年継続している事業を見直し、役割を終えたと判断されたら新規事業を検討する（熊本）

◆熊本地震により 3 年目に入ろうとしています。我がりんどう RC は若い世代でのメンバー構成ですからアグレッシブに動けます。機動力と若い発想で地域社会に貢献していき地域の皆さんに寄り添えるクラブを目指します。1) ロータリー活動が地域の皆さんの人生を豊かにする一助になるよう活動する。2) 熊本地震復興支援の継続と地域の皆さんに寄り添えるロータリー活動・例会を実践する。3) 未来を担う子どもたちを教育・スポーツの側面から支援活動する（熊本りんどう）

◆現在のクラブの雰囲気や伝統を大切にしていきたい。クラブとして、28 番の設問にも積極的に関わっていききたいし、また、将来のためにも若い方や新人の地区への出向も図りたい（熊本東）

◆若手会員の加入（熊本北）

◆私たち熊本東南ロータリークラブは常に“Joyful and Good” 楽しい 良い クラブを目指します。そのために中期 3 ヶ年計画書(案)を策定（5 年後、10 年後を見据えて） ・会員増強・例会出席率・奉仕活動・親睦活動・姉妹クラブとの交流 ・例会の活性化・収支予算・周年事業の在り方他 ・東南 RC の歌づくり（熊本東南）

◆青少年奉仕、社会奉仕としては、ローターアクトクラブの支援。親子で参加するボート大会など。国際奉仕としては、オーストラリアのロータリークラブとの交流。また、バングラディッシュの母子支援プロジェクト計画の推進。ポリオ撲滅のロータリーデーの募金活動等。クラブ奉仕としても、家族会、新入会員歓迎会等たくさんの行事を行う計画である。今後もこれらの活動を推進していきたい（熊本城東）

◆会員が出席したくなるような奉仕活動や卓話の時間をつくることによって出席率の向上につなげたい（熊本平成）

◆各委員会活動の取り組み強化。子どもたちの生活の保全（里親制度への支援）（熊本水前寺公園）

◆身近にある小さなことでも良いので、クラブ会員全員が積極的に参加できる、意味のある奉仕、啓蒙活動を策定し、そのことが「あの活動をしている別府北クラブに入会して一緒に頑張りたい」という状況になれば理想的である。一方で別府市だけでなく、より大きな視野で 2720 地区のその他の地域の災害から復興にも目を向け、出来れば復興支援のバスツアー等を行い、広く 2720 地区での親睦を深めたい（別府北）

◆近年若手会員の入会が進んでおり、にクラブの活性化につながっているが、できるだけ早い機会にしっかりしたクラブの教育プログラムのマニュアル作成が必要と痛感している。次年度、当クラブの 60 周年が計画されているこの機会に歴史を振り返り、次の新しいクラブへとステップアップするよう会長として、まず、委員会の委員長の基本マニュアルを作成したい。また、次年度の委員長に入会 5 年未満を登用し、地区の研修会に積極的に参加するよう指導していきたい（本渡）

◆3 年程前から会員増強委員会の活動が活発で、この 4 名が新入会員として加わりました。平均年齢も 40 歳代と小さい町の中でこのように若い方がロータリーの興味を示し、自己啓発を兼ねて入会して下さることに感銘しました。これからの活動として地域のいろんな分野で若手リーダー的存在の方が活躍されておりますので、現会員でその方々を掘り起こし、勧誘して会員として迎え入れて、クラブを活性化させ流れに沿って地域の活性化と地域貢献を果たしていく所存です。私はクラブの行うべきことは会員増強に尽きると考えております（西天草）

◆会員数の増強（熊本西）

- ◆クラブ内の親睦はもとより会員増強においては、即戦力になる精鋭を時間をかけてでも発掘することです（天草中央）
- ◆ロータリークラブの中でリーダーシップの取れるクラブを目指し、計画と実行のできるクラブ作り、人材育成（スキルアップ）を行っていきます（熊本南）
- ◆若い世代（30～40代）の新規加入（八代北）
- ◆会員増強が急務。約20年前は会員数70名以上であったが、近年は60名強。活性化は会員がつくりあげられるもの。会員数も大切だが、会員の質の向上も。質の高い増強（人吉）
- ◆ずばり会員増強だと思います。そのためにはまず、入会したいと思わせる地域の奉仕（水俣市はスポーツキッズサポーター制度というものがある）など協力できるものに積極的に参加していきたい。せっかくインターアクトクラブがあるので、ロータリーともっと交流を深め、例会にインターアクト生を実際呼んで合同例会をしてみたい（水俣）
- ◆会員が親交を深め、各自の職業を改めて認識し、その経験をロータリーで生かせるようモチベーションをアップしたい。そのためには、①会員増強②新入会員のフォロー③各委員会の強化（多良木）
- ◆会員拡大。クラブの安定（中津中央）
- ◆魅力あるクラブの構築維持のため、重点目標を次の通り掲げ、クラブの活性化に努めてまいりたいと思います。1)職業奉仕の実践取り組みの強調を図る（会員相互の理解のため職場例会の実施）2)奉仕活動・広報活動の強化（地域社会に相応しい奉仕活動の実施ニーズに応じた）3)会員増強・例会出席率の向上（会員増強に対する認識を深め、若年層及び女性会員の増強により活力あるクラブを目指す）（玖珠）
- ◆会員増強（別府中央）
- ◆なる次世代の担い手となる青少年たちの健全なる育成に向けて、まら貧困、育児放棄等で十分な食事や教育を受けられない子供たちの支援等を積極的にやっていきたいと思っています。別府には4クラブあります。合同で何かプロジェクトを立案、実行してゆければとも考えています（別府東）
- ◆特に歴の浅い会員がロータリアンとしての使命や目的を明確に持てるように意識して努めることが必要かと思っています。そのために積極的にクラブ行事に参画できる環境を整え、奉仕や親睦から得られる達成感や喜びを感じられるような機会を多く作りだすことが必要かと思っています（日出）
- ◆クラブの活性化を図るには、女性会員の増員も含め会員増強が必須。会員、家族が参加できる奉仕活動や行事を考え、会員同士の親睦を深める。地域において、青少年や障害を持った方への支援に力を注いでいる奉仕団体となること（日田中央）
- ◆会員の増加。会員相互の職業（湯布院）
- ◆2019.1.26のIMに向けて、皆の意見を聴取中。5年後に向けての基盤づくりの1年にしたい（大分東）
- ◆会員の交流を活発にし、職業の多様性を基礎に親睦を深め、視野を広げて奉仕するロータリーとする（大分中央）
- ◆地元会員・二世会員・女性会員・外国人会員の増強。時代によって変えるべきものと、変えなくてよいものを明確にしていく。転勤者会員と地元会員との交流会を増やす。自己研修に繋がるロータリー教育の会を増やす。大分市のクラブはもとより、別府市・臼杵市地区等の交流。学友との活動を積極的に行う。会員参加型の奉仕活動を増やす（大分）

◆友愛と活力みなぎる会員と共に大分に元気を発信するクラブをビジョンに掲げ、3つの目標を決意します。①会員満足度の向上②変化する社会的傾向に適応し奉仕活動を行う③公共における存在感を高める行動指針。法人会員、若手会員（30～40歳）女性会員の拡大に努める。定期的な委員会開催と各委員会の例会担当を設け例会企画運営を実施、委員会活動の活性化に努める。ラグビーワールドカップ啓発活動と高齢者、子供たちとの花育活動を模索して、地域に根差した奉仕活動を実施する。会員ニコニコ情報や家族情報などHP、週報を活用し広報活動の充実に努める（大分臨海）

◆まずはホーム例会の出席率を上げること（大分南）

◆一つ一つの委員会の役割を委員長、副委員長が把握し、1年計画を立て例会でアピールしていく。各委員会が活性化することでクラブ全体が活性化する。自分のクラブの活動を聞かれた際に、誰もがきちんとお話しできる状態をつくる。そのために各人が青少年奉仕に積極的に参画していく（大分1985）

◆まずは会員増強を図る。目標としては会員数40名。会員が知恵を出し合って、地域と連携して持続性のある奉仕活動を実施する。その際、RCCを立ち上げる。ローターアクトを立ち上げる。グローバル補助金を活用した国際奉仕活動を実施する。現在計画中。会員が奉仕活動という目的を持って、話し合い行動することで、充実感を持ってもらう（大分城西）

◆私たちは、遠く離れていても支援奉仕ができるクラブです。そのような、地域社会の課題に対して、柔軟に対応してa.地域の経営者同士が横のつながりをつくりb.会員を増やしc.その地域のための奉仕活動へつなげていきd.より良い地域作りと、子供たちへ良き環境を残していく取り組みをして、より奉仕ができるクラブとして成長させていきたいです（2720 JAPAN. O. KロータリーEクラブ）

◆会員数が少なくなっている現在、たくさんいた時と同じような活動はできませんが、少ない中での人力、経費を上手に使い、奉仕活動ができるようにしていきたい（竹田）

◆常に元気で・明るく・楽しく交流の活発化。全員一人一人が自主的に考える。クラブが何をしてくれるのではなく、クラブに何をしてあげられるのか、地域に必要なとされるクラブ作り（佐伯）

◆さまざまな青少年奉仕、社会奉仕を行っているが、少人数なので全員で決めることが多い。メンバーは重複しているが、できれば各委員会を開き、アイデアを出し合い、議論して会員がやりがいを持てるよう活性化していきたい。会員増強も努力はしているが中々成果が出ない。地域性もあると思うが活性化のためには最も重要だと考える（豊後大野）

◆2016年規定審議会：クラブ運営に大幅な柔軟性に対するクラブ内の議論（アンケートを含む）がされていなかったこと（内容説明は1回有り）※Eクラブの活用。会員拡大※女性会員の拡大※30～40代の会員拡大（宇佐）

◆会員の増強は必須である。数ではなく会員個々の意識の向上。この町に見合った職業奉仕、社会奉仕の在り方を模索する（杵築）

◆クラブの長期方針として、地域の青少年を育成することに焦点を定め、20周年記念行事と絡めて具体案を検討中です。現在3年間にわたり実施中の宇佐神宮子ども観光ボランティアガイド育成事業の継続（宇佐2001）

◆来年30周年を迎えるため、記念事業（基調講演、記念式典etc）の実施で地域社会へのPRを図り、魅力的なロータリーを広く伝えていく（臼杵中央）

- ◆現在、形あるものにするため協議中（熊本中央）
- ◆クラブの長期方針として、地域の青少年を育成することに焦点を定め、20周年記念行事と絡めて具体案を検討中です。現在3年間にわたり実施中の宇佐神宮子ども観光ボランティアガイド育成事業の継続（宇佐2001）
- ◆会員が楽しめる様々な親睦活動の実施。青少年奉仕事業に力を入れる。あらたな継続的奉仕プロジェクトの取り組み。年に一度クラブ細則の見直し。単年度の奉仕プロジェクトの実施。地区補助金（年一回）・グローバル補助金を活用した事業の実施（大分キャピタル）
- ◆ロータリークラブの存在意義をしっかりと会員一人一人が考え、議論し、そして行動へとつなげていきたいと考えます。全ての奉仕活動も、会員増強も、親睦も全ては、なぜ必要なのか、何のために、誰のためにそこがわからなくてやっても意味がなく、会員の自主性や参加意識も出てこないと考えます。なぜこれをロータリークラブがやるのか？一つ一つに意味を考える習慣を大切にすることにより、クラブの活性化を測りたいです（別府）
- ◆会員増強 40～50代。国際間 友好若しくは姉妹クラブ締結の模索。出席率向上のための魅力的な例会プログラム（人吉中央）

30 その他、ご意見やご質問をお聞かせください

- ◆弊クラブにはまだ戦略計画委員会がありません。次年度は立ち上げてみたいと考えておりますが、どのような段取りをしたらいいかかわからないので、アドバイスをお願いします（宇佐八幡）
 - ◆例会の充実等他クラブの例会や卓話をどのようにしているか知りたい。戦略計画を作成しているところの具体例を見たい（宇土）
 - ◆個々のクラブが行うプロジェクトとは別に地区全体で何か大きなプロジェクトを行うとロータリークラブのPRにつながると思います（臼杵）
 - ◆会員数が減少し、予算的にもクラブ存続の危機的状況にある（熊本北）
 - ◆例会の出席率が低迷。多くの行事を行っている割に。会員の参加意識が今一つで、この現状をどうすべきかよく分からない（熊本城東）
 - ◆研修等の回数が多いと思います（熊本平成）
 - ◆少人数クラブの研修を考えてほしい。例会より研修会が多く、大分で行われる場合、時間、費用が負担になっている（熊本水前寺公園）
 - ◆毎年3月はイベント（行事）等が大変多いので4月頃をお願いしたいと思います（多良木）
 - ◆これから30周年を機に戦略計画について話し合いたい。永いスパンで実践に移していく（臼杵中央）
 - ◆新しいクラブ、新しい価値観、新しいメンバー。発足僅かな未熟なクラブでございますが、時間・地域・※以下印字していません（2720 JAPAN. O. KロータリーEクラブ）
 - ◆新人や若手が増え、これからクラブが益々活性化していく時期に入ってきたと思います。新人育成しながら、クラブ全員で同じ方向を向いて活動していきたいと思っております（大分1985）
- 以上。

2019年3月18日 集計